

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	城山介護老人保健施設	所管課 TEL	高齢福祉課 0263-34-3213		
所在地	松本市大字蟻ヶ崎2132番地	設置年月	平成10年4月		
施設設置目的	国立松本城山病院廃止後の跡地利用として、高齢者が安心して自立した生活が出来る地域づくりをするため、医療との連携を図りつつ、要介護老人の自宅・地域への復帰を目指す為、介護老人保健施設を設置した。				
施設概要・設備	延床面積5,421㎡、居室延面積1,327㎡、RC造一部S造 2階建 療養室、談話室、食堂、浴室、レクリエーションルーム他、 城山デイサービスセンター併設				
指定管理者名(選定方式)	(一社)松本市医師会 (非公募 特命指定)				
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日				
指定管理者の 主な業務	施設管理運営(施設サービス計画に基づき、看護、医学的管理下での介護、機能訓練等の必要な医療、日常生活の世話をを行い、在宅生活への復帰を目指す。また、他に介護予防を含む通所リハビリテーション、短期入所を行っている。)				
利用料金制の導入	あり 利用料金制(独立採算)				
施設の 利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)
	入所延べ日数	40,066	39,495	98.6%	98.6%
	通所延べ日数	4,925	5,230	106.2%	106.2%
	(特記事項) 平成19年3月末で城山診療所を閉鎖し、介護老人保健施設に19床増床、平成19年5月7日から入所定員119床に変更				

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支			
	年度計画額		収支実績額		令和6年度決算		令和5年度決算	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	収入(歳入)	事業収入 介護保険収入 雑収入 その他収入(自主事業)	83,620,000 523,200,000 1,560,000	事業収入 介護保険収入 事業外収入(雑収入) その他収入(自主事業)	92,897,851 524,711,006 5,678,244 2,486,377	指定管理者納付金 施設貸付料 行政財産目的外使用料	0 0 5,810	指定管理者納付金 施設貸付料 行政財産目的外使用料
計	608,380,000	計	625,773,478	計	5,810	計	5,810	
支出(歳出)	人件費 事務費 事業費 備品費 会議費 退職積立金 指定管理者納付金	413,270,000 5,790,000 166,850,000 0 10,000 5,000,000 8,730,000	人件費 事務費 ・研修費 ・旅費交通費等 事業費 ・委託費 ・光熱水料費 ・燃料費等 負担金 減価償却費 引当金繰入 指定管理者納付金	427,113,467 4,721,694 ・印刷製本費 ・薬品消耗機材費 196,110,983 ・賃借料 676,400 407,226 0 0	修繕料 備品購入費 工事請負費	7,044,400 3,682,800 3,052,500	修繕料 備品購入費 工事請負費	2,365,000 9,482,000 3,399,000
計	599,650,000	計	629,029,770	計	13,779,700	計	15,246,000	
損益	8,730,000		-3,256,292	差引	-13,773,890	差引	-15,240,190	

(特記事項)

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評価の基準		
A	(1.0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7)	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5)	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分が確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0)	不適切な部分が確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
65.4

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠	
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	特定の個人、団体に有利または不利にならない管理運営に留意しており、アンケートからも問題は見られない。	
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件モニタリングチェック項目により確認したところ、適正な労働条件は確保されている。	
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	A	施設内は整然と管理され避難時に支障なく、関係機関への緊急連絡網等が整備されており問題はない。	
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	利用者の事故を防止するため、全職員を対象とした研修等に取り組んでいる。	
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	個人情報保護方針を策定し、利用申請書等適切な管理が行われている。	
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	情報公開等に対応できる内容である。	
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	財務モニタリングチェック項目により分析した結果、損失は出ているが、健全な経営を行っている。	
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	迅速な対応が可能なバックアップ体制があり安心感がある。	
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に業務が履行されている。	
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	A	独自のノウハウを生かし、責任をもって管理運営に携わっている。	
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	職員配置計画のとおり人員が配置されており、施設管理運営上は適切といえる。	
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	指揮系統、責任権限も明確になっており、適切といえる。	
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	年次有給休暇の取得状況確認、育児休業等が取得しやすい環境の整備（労働者間の意識の醸成）に取り組んでいる。	
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	計画的な研修、必要な指導が適切に実施されている。	
		経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	専用の会計帳簿により適切に利用料金の收受、管理経費の収支を管理しており、問題は見られない。
			16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	第三者への委託の範囲、委託先共に適切である。
安全管理	17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	正確に作成され、期限までに提出されている。		
	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	安全対策委員会が設置され、マニュアル等の整備、職員への教育がされている。		
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	管理区域、業務範囲について、的確に把握している。定期巡回や清掃についても適切に行われている。	
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	施設の設置目的を理解した運営を行っている。自主事業については実施及び内容にさらなる工夫がほしい。	
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	事業計画書に基づき適切に事業が実施されており、問題は見られない。	
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	地域の住民や関係団体等との良好な関係を維持している。	
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	一定の広報活動の成果はあり、通所利用率は上がっている。	
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	LIFE加算に取組み、軌道にのせており、努力は認められる。	
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	モニタリング結果において障害者、高齢者の利用に問題はない。	
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	A	利用者アンケートの実施、ご意見箱の設置及び記録シートにより、利用者の要望や苦情に迅速に対応するよう努めている。	
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	業務日誌等からセルフモニタリングの結果が確認でき問題ない。	
	環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	施設運営目標として定め、目標達成のための努力は認められる。	
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費削減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	自らが施設の清掃等を実施することで、経費の削減を図っている。	
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	事業計画書通りの事業を実施しており問題ない。収入は減少しているが、通所利用率は上がっている。	

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和6年4月22日 ~ 10月31日
	調査対象	入所者・通所者 146名
	調査方法	主に聞き取り可能な利用者及び身近な職員による代弁により実施
調査結果	別紙1のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等		

4 指定管理者による自己評価

令和6年度の 自己評価	別紙2のとおり
要望・苦情への 対応状況	
今後の目標	

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】 計画書に基づいて次の事業を実施した。利用者の満足度の向上や収益の強化に向けて、さらなる工夫を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事食・セレクト食の実施 ・インフルエンザ、肺炎球菌の予防接種事業 ・選挙における不在者投票投票 ・大学生、短期大学生、専門学校生等の実習生受託事業 <p>【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】</p> <p>—</p> <p>【総合的な評価】 利用者及び家族からの意見・要望・苦情については、利用者アンケートのほか、施設内4カ所にご意見箱の設置、サービス利用時の感想を集約する仕組みにより、意見や要望、苦情等の速やかな把握に努めている。</p> <p>感染予防対策を慎重に行いつつ、対面会や外出の制限を緩和し、利用者や家族、外部ボランティアとの交流を増やしており、満足度の向上につなげている。介護保険及び補助金収入の減少と、物価高騰等による食費、委託料や光熱水費の支出増加で、収支差額はマイナスになっているが、通所の利用率は増加している。</p>
--

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
72.4

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

判断結果
適正

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

嗜好調査結果報告

1) 普段の食事についての満足度

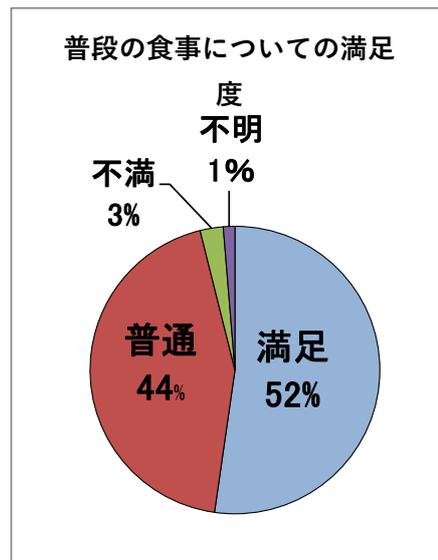
	1F	2F+E棟	通所リハ	合計	比率	昨年
満足	25	20	36	81	52%	64%
普通	17	30	21	68	44%	29%
不満	1	2	1	4	3%	5%
不明	0	1	1	2	1%	5%
合計	43	53	59	155	100%	-

前回に比べて満足と回答した方が、-12%、普通は-15%となったが、満足と普通を合計すると、96%となり、満足度は高い結果となった。

今年度はお米の値上がりの影響も大きく、献立作成をする際には、苦慮する場面も多かった。来年度より食費の値上がりも予定されており、利用者様の希望する献立作りに努め、満足度のUPを目指したい。

[不満の声]

- おかずが少ない。
- まずい。もう少しお金を出してもいい物が食べたい。食事を楽しみに来ている人もいるのだから、食べて嬉しくなるような物を出した方がいい。(通所利用者様)
- おかずの味付けが薄い。
- 刻み食なので味は不明



2) 味つけについて

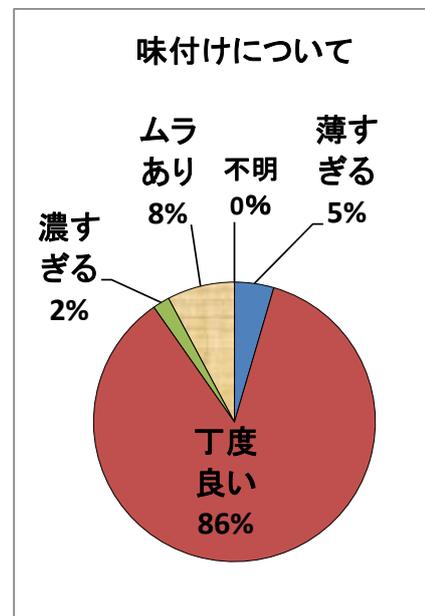
	1F	2F+E棟	通所リハ	合計	比率	昨年
薄すぎる	1	2	4	7	5%	4%
丁度良い	37	48	48	133	86%	88%
濃すぎる	2	1	0	3	2%	1%
ムラがある	3	2	7	12	8%	4%
不明	0	0	0	0	0%	2%
合計	43	53	59	155	100%	-

味つけについては、丁度良いと感じている方が86%で、前年度を-2%下回る結果となった。ムラがあるという回答が前年度と比べると2倍に増えている。

日々の食事でも通所よりムラがあるというご意見を頂く事がある。引き続き、調理の際には複数での味見を徹底して欲しい。

[丁度よい以外の声]

- たまにサラダが全然味がついていない時がある。
- 味噌汁が薄い時と濃い時がある。



3) 量について

	1F	2F+E棟	通所リハ	合計	比率	昨年
多い	4	5	8	17	11%	10%
丁度良い	38	47	46	131	85%	79%
少ない	0	1	4	5	3%	8%
不明	1	0	1	2	1%	3%
—						
合計	43	53	59	155	100%	—

前年度と比べると丁度良いという回答された方が6%増え、少ないという方が、-5%となった。多いと回答されている方は、主食量を理由にしている方が大半なので、量については可能な限り、定期的に聞き取りをしていきたい。

日々の食事提供の際には、野菜をもっと食べたいというご意見を頂く事が多い。特に葉物野菜は加熱すると見た目が寂しくなってしまう事は、栄養科でも感じる。献立作成の際には、野菜の量についても気を付けていきたい。

[丁度よい以外の声]

- ご飯の量が少し多い。
- おかずが少ない。(2)
- 夕食はそんなに食べられない。
- お粥の量が多い。
- ご飯がいつも二口分多く、残してしまうのが申し訳ない。
- ご飯の量が少ない。
- ご飯が多い。おかずは丁度良い。
- ご飯を少なくしてほしい。
- 日によって多い時もある。

4) その他、意見、要望など

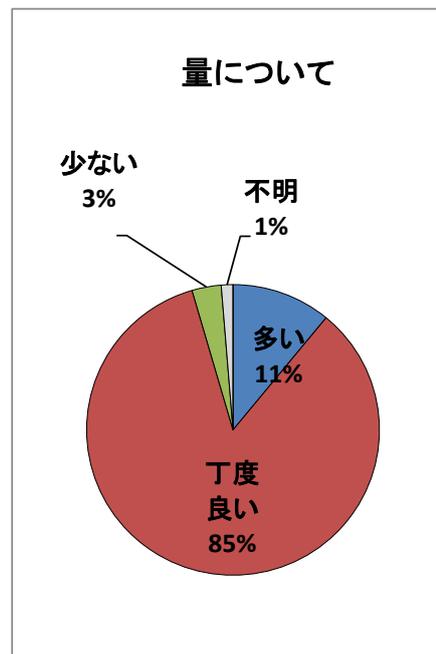
《1F》

私はお粥ですが、パンの日はパンが食べたい。
辛い物が食べたい。野菜(サラダ)を多めに食べたい。
十分です。

《2F、E棟》

- 果物や野菜はいつも食べたいです。
- 冷たい物はあまり好まない。
- 調理師免許があるが、ここの食事はおいしい。
- 野菜をもっと食べたい。
- サラダ(生野菜)をもっと食べたい。
- 魚料理は火が通り過ぎていて硬く感じる事が多い。
- 水分が飲み込めずにとめ込んでしまう事があり、負担な様子が見られる。
おやつを水分ものに変えて、水分摂取を確保を検討したい。
- 残食はあまりなく食べられている。おいしく食べているよ。とのこと。
好きな物を聞くと、何でもおいしいよ。
- 食事についてきくと、「美味しいです。」とニコニコしており、特にこだわりや好き嫌いをなく食べている。
- いつもそんなに食べられない。
- いつも味が薄く感じる。
- 美味しい物が食べたい。
- 年だであまり沢山は食べられないね。
- よく分からない。

《通所》



△できるだけ手作りの物があればうれしい。

△普通のごはんが食べたい。

×今日のカツは味が濃くて美味しかった。他はダメ。美味しい時とまずい時の差が激しい。(通所利用者様)

○目が見えないし、特にありません。出してくれる物で十分満足です。

○色々出して頂き、もろこしのごはん美味しかったです。もろこしごはんは家でもお嫁さんが来た時に作ったら好評でした。

○この食事は残す事なく美味しく頂いています。今日のカツカレーはボリュームたっぷりでした。

この食事は味付けがいい。

△誕生日会などのイベント食がなかなかあたらない。前に海鮮丼が出た時には美味しかった。

○以前は味噌汁の具も少なく、ぬるかったが、今は熱くて美味しい。

△麺の日には食べづらいので、割り箸をつけてほしい。うどんの時に量が少ない。

おかわりはあるけど、もらわない。食べづらいから面倒くさい。

△糖尿病でも気にせずに食べられるおやつがあるといい。

○大変満足している。

△麺類が食べにくい。麺がかたまっている時がある。

○お吸い物や茶碗蒸しなど行事食は美味しい。

○今日のは美味しかった。色々工夫して下さり有難い。

○出して頂ける物を頂いています。

△甘い物は好きじゃないので、おやつを手をつけない。

△ソースがきついのは好まない。トンカツのソースも濃かった。

△隣の席の方が痰が出るのは仕方ないが、飲み込んでるのが気持ち悪い。

食欲が失せてしまう。ショートの時も嫌だ。

○贅沢は言いません。いつもきれいにいただいています。

△他の施設に比べて量が少なく感じる。

△麺がたまに出たらいいと思う。

△歯がダメだから好き嫌いを言っても食べられない。

○バランスがとれているので、現状維持して欲しい。

△味噌汁が少し辛く感じる。

5)希望する献立

《主食・主菜・副菜》

1位 うなぎ

2位 寿司

3位 天ぷら

4位 刺身、味ごはん

《その他》

1位 甘い物

2位 ケーキ

3位 果物、(生)野菜

4位 せんべい、漬物

○辛い物が食べたい。野菜(サラダ)を多めに食べたい。

○天ぷら(4)(南瓜、さつまいも、野菜、魚など)

○カステラ(宮嶋千恵子様、両角二三人様)

○うなぎ(6)

○お寿司(ネタは何でも好きです)(3)

○生寿司(2)

○刺身(3)

○海鮮丼(2)

○すき焼き(牛肉、豚肉でも)(2)

○ラーメン(2)

○巻き寿司

○塩せんべい

- 冷そば
- クッキー、せんべい
- ケーキ(4)

- あんこが好き(草餅)
- ちらし寿司(2)
- 天井(2)
- 生野菜(2)
- 山賊焼き
- 煮イカ
- 焼き鳥
- ステーキ(3)
イベント食でステーキが出ると嬉しい。
- 魚が好き
- ほうれん草のお浸し
- 果物は好きだからもっと食べたい。たくさん出ると嬉しい。(2)
- サンドイッチ(2)
- 味付ごはん(3)
- 五目ごはん(2)
- チョコレート
- 甘い物が好き
- 野菜が好き
- 漬物
- そうめん
- 雑炊
- 米が好き
- 野菜ジュース
- 煮物(2)(野菜でも肉でも魚でも)(人参と大根)
- 生野菜(レタス、キャベツの千切りなど)にドレッシングかけるのが一番美味しい
- 具たくさんカレー
- 甘い卵焼き
- 豚肉料理
- バナナ
- 納豆
- 酢豚
- どら焼き、おまんじゅう、水ようかん、お団子、和菓子
- 濃い味付けが好きです。
- 魚はシンプルな方がいい。変わった事はやらなくて、普通の焼き魚がいい。塩気が欲しい。
- 漬物が少し欲しい。
- ご飯ばかりじゃなくそうめんも出してほしい。
- 果物はたまには生の果物が食べたい。

4 指定管理者による自己評価

令和6年度の 自己評価	<p>令和6年度も年度当初に施設運営目標を定め、目標達成に向け努力した。</p> <p><施設運営目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入所稼働率・通所利用率を100%に近づける。 2 可能な加算は全て算定する。 3 光熱水費など経費を削減する。 <p>施設利用状況は、入所利用は1日平均107.9人(稼働率90.7%)。前年度と比較し、平均利用者数で4.7人(稼働率3.9%)減であった。通所利用では1日平均17.0人(利用率67.9%)。前年度と比較し、平均利用者数1.0人(利用率4.0%)増であった。</p> <p>入所利用について、稼働率95%を目標にベッドの空床を作らないよう努めてきたが、結果として90.7%と達成には至らなかった。また、施設で看取りをさせていただいた方は10名であった。令和6年度は、体調により病院へ搬送するケースが多かったことから、空床ベッドを多く作ってしまったことが反省点となってくる。通所利用については、1日平均20人のご利用を目指してきたが、17人平均で終わった。新規利用者増が出来ても、在宅生活の維持が困難となり終了していくケースもあり、数字として結果を出すことが出来なかった。平成22年からスタートした介護職員処遇改善加算については、ご利用者にご負担いただいた加算分を職員給与のベースアップ分等に回すよう計画してきている。令和6年5月31日まで3本立で計6.8%であった利用者負担が、介護報酬の改正により令和6年6月より「介護職員等処遇改善金加算7.5%」に一本化され、加算で得た収益はもれなく職員の給与費の一部として使われている。介護現場における人手不足が深刻化している昨今、若い職員の離職が当施設においても起きている事、また、求人に対する反応がないことなど人材確保が厳しい状況が続いている。</p> <p>令和6年度の経営状況を概略で見ると、収入が6億2,600万円、支出が6億2,900万円で、約300万円支出が収入を上回ってしまった。年度当初、約3,000万円の収益を見込み、退職金積立へ回せるようにと計画したが、目標を達成することはできなかった。今年度の対策としてまずは、ベッドの空床を最小限に食い止めるようベッド管理を強化していく。支出面では、16社強の会社に業務委託している委託費の上昇が経費増大につながってきている。正社員に代わり派遣社員の採用について委託業務の一つとして開始したことや、物価高騰による食材料費等の上昇などを理由として、給食業務委託会社からの委託金額の改定要望を受けて、令和6年4月から食費がおやつ代込みで1,640円から1,760円へ120円値上げされたものの、思わぬ米価格の急騰、物価高騰の継続により、市と協議の結果、今年度も利用料(食費)の増額に係る要望書を松本市へ提出することとなった。周辺施設の状況調査等も実施し、2月定例議会に議案が提出され、3月に可決された。令和7年4月から1,760円から1,860円へ100円値上げ、通所リハビリ食費は、おやつ込み720円から760円への値上げとなった。</p> <p>現在、予約なしでご家族が施設内へ入館し、ご本人と対面面会を行うことを、注意事項をご理解いただきながらではあるが再開することが出来ている。色々な施設行事についても前向きに取り組んでいく方向性を打ち出しており、コロナ以前の施設運営に近づきつつある。ご利用者及びご家族からの意見に耳を傾けながらより良いサービスの提供に努めたい。119床満床を目指し、入所稼働率のアップ、通所リハビリの利用率向上について検討を重ね、利用料収入が増加するよう努力し、退職積立金・収益に結び付けたい。また、地域において、多職種が揃う介護の拠点として医療との連携を図りながら皆様に貢献できる施設であるための努力を惜しまない。</p>
要望・苦情への 対応状況	<p>ご利用者・ご家族様からの意見・要望・苦情については、利用開始時に、苦情対応窓口について、施設内4か所にご意見箱の設置について等の説明を文書および口頭で実施し、迅速かつ適切に対応できる体制を整えている。また、ご利用者がサービス利用時に何気なく発した言葉を聞き逃さずに「つぶやき・ささやき」シートを用意して、職員が記入して記録し、苦情まで行かなくても、こうして欲しいという要望も含めて迅速に対応するように心がけている。対面面会を行えるようになり、直接居室や食堂まで入っていただくけるようになったことで、色々な心配事が解消出来た方もあり、また、逆に心配が増える場合もありうる事を踏まえ、ご家族には聞き取りを実施している。</p> <p>携帯電話等のモバイルツールを通しての交流も増加しており、要望や苦情もお聞きしやすくなっている。引き続き、ご意見や要望を頂きやすい環境づくりに努めていきます。</p>
今後の目標	<p>現在、予約なしでご家族が施設内へ入館し、ご本人と対面面会を行うことを、注意事項をご理解いただきながらではあるが再開することが出来ている。また、外出も本人の事情に合わせて実施している。今後は、外泊についても自由に行えるようにしていきたい。更に、ご利用者の満足度が上がり、ご家族との交流が増えるような施設行事についても前向きに取り組んでいく方向にあり、外部ボランティアの受け入れも可能とした。施設生活を閉塞感を感じないような環境にしていきたい。また、ご利用者及びご家族からの意見に耳を傾けながら、より良いサービスの提供に努めたい。施設利用をご希望される方々のニーズに答えられる施設であることを目指しつつ、119床のベッドを無駄にすることなく利用に結びつけることで、入所稼働率のアップ、通所リハビリの利用率向上に努めたい。</p>